

第11回「おもしろ科学教室」(名古屋大学)

いつどこで?

平成31年1月14日(月・祝)、名古屋大学において「おもしろ科学教室」が開催されました。

どんなイベント?

このイベントは、科学の面白さや楽しさを体験し、遊びの中から科学への興味や関心を持ってもらうことで、次世代の科学技術の担い手を育てることを目的としています。

日本弁理士会東海支部、名古屋大学、および応用物理学会をはじめとする7つの学会が主催するイベントで、日本弁理士会東海支部の教育機関支援機構は電子紙芝居(レオ君物語)と工作教室(電子万華鏡)を実施し、この中の工作教室取材しました。

どんな雰囲気?

小学3年生から中学1年生までの50名の児童が参加しました。担当委員に分からないことを質問しながら、全ての児童が電子万華鏡を完成させることが出来ました。

工作の内容

電子万華鏡の作成に挑戦し、光を分解する回折格子とLEDとを組み合わせるとどうなるかを体験してもらいました。

電子万華鏡の作り方自体は難しくありませんが、細かな作業が含まれていたため、担当委員が手伝う場面もありました。また、LEDと電池ボックスとを半田で接続する作業が有りましたが、2人の担当委員の指導のもとで行いました。半田は必須の作業ではありませんが、担当委員の指導が優しく丁寧だったので、列をなして児童が順番を待つ

ていました。

工作が完成すると、子供達は完成した電子万華鏡を覗きこみ、中で点滅する発光ダイオードのキラキラしている様子を、友達同士や保護者の方と一緒に楽しそうに見ていました。



工作終了後に

最後まで教室に残っていた児童も担当委員の助けを借りて完成させることが出来ました。この児童と一緒に来ていた祖母から「普段、直ぐに投げ出す子なのに今日はよく頑張りました。ありがとうございます。御座います。」とお礼を言われました。



2019.1.14 東海支部 広報企画委員会委員
弁理士 伊藤 昭行